

法 学 号 外
平成 29 年 3 月 9 日

各 私 立 学 校 長
 (高・特)
高等課程を置く各私立専修学校長 } 様

岩手県総務部法務学事課私学・情報公開課長

「第2回全国高校生 SBP 交流フェア」参加団体の公募開始について
このことについて、別添のとおり通知がありましたので、お知らせします。

【担当】私学振興担当 中村

電話 019-629-5041 FAX019-629-5049

メールアドレス: AH0007@pref.iwate.jp

事務連絡
平成29年3月3日

各都道府県・指定都市教育委員会高等学校指導事務主管課
各都道府県・指定都市教育委員会特別支援教育担当課
附属高等学校（中等教育学校後期課程及び特別支援学校高等部を含む。）
を置く各国立大学法人附属学校事務担当課
各都道府県私立学校事務主管課
各国公私立高等専門学校事務局
構造改革特別区域法第12条第1項の認定
を受けた地方公共団体の学校事務担当課
各都道府県生涯学習・社会教育主管課
市町村生涯学習・社会教育担当課

御中

文部科学省生涯学習政策局参事官
（連携推進・地域政策担当）

「第2回全国高校生SBP交流フェア」参加団体の公募開始について（依頼）

文部科学行政の推進について、平素より御理解、御協力いただき、誠にありがとうございます。
このたび、文部科学省が共催する標記行事について、参加団体の公募を開始しましたので
御案内いたします。

また、生涯学習・社会教育主管課におかれましては、域内の所管の学校（高等専修学校を含む。）
に対して、周知願います。

記

1. 名称 第2回全国高校生SBP交流フェア
※“SBP”とは、ソーシャルビジネスプロジェクトの略で、
地域社会の課題をビジネスの手法を用いて解決していこうという取組
2. 趣旨 全国の高校生が地域の課題を解決するためにビジネスの手法等を学びながら
“取り組んだことを発表”し、“開発した商品を紹介・販売”をしながら交流し、
互いに評価しながら向上していくことを支援していくとともに、地域の活性化に
寄与することを目指している。
当行事に参加した高校生らが更に郷土愛を育み、更に地域を盛り上げる活動を
展開するきっかけになるとともに、SBPに取り組みたいと考えている方々に希
望をもってもらえる祭典・交流フェアになるよう企画している。
3. 表彰 文部科学大臣賞等



4. 参加資格 高校生が地域の課題をビジネスの手法を用いて解決する取組を行っている団体
*全国高校生SBP交流フェアにおける「高校生」については、下記注記を参照
ください。なお、団体の代表者など主に取り組む者が「高校生」であることが要
件であり、「高校生」以外の者が当該団体に所属又は活動に参加していても可と
します。
5. スケジュール
- | | |
|---------|-------------------|
| ・応募締切 | 5月19日(金) |
| ・書類選考 | 5月22日(月)～5月31日(水) |
| ・選考結果通知 | 6月初旬 |
| ・交流フェア | 8月18日(金)～8月19日(土) |
6. 実施場所 三重県伊勢市(皇學館大学、外宮前特設会場)、多気町(まごの店)
7. 主催 未来の大人応援プロジェクト実行委員会
共催 文部科学省

事業の詳細及び問い合わせ先は、添付の「募集要項」を参照ください。

(注記)全国高校生SBP交流フェアにおける「高校生」について

下記の学校に在学している生徒とします(国立・公立・私立は問いません)。

- ・ 高等学校
- ・ 中等教育学校の後期課程
- ・ 特別支援学校の高等部
- ・ 高等専門学校(第1学年から第3学年まで)
- ・ 高等専修学校
- ・ その他これらに準ずる教育機関

ただし、科目履修生、聴講生等は対象となりません。

以上

<本件担当>

文部科学省生涯学習政策局
参事官(連携推進・地域政策担当) 付
連携協力第一係 片貝、梶野
TEL 03-5253-4111(内線3464)
(直通) 03-6734-3464
E-mail chiiki@mext.go.jp

第2回全国高校生SBP交流フェア 募集要項

1. 趣旨

我が国は、少子高齢化や人口減少といった構造変化もあり、地方によっては経済環境に厳しいところもみられます。地方において経済の好循環が実現しなければ、「人口減少が地域経済の縮小を加速させる」という負スパイラル(悪循環連鎖)に陥るリスクが高くなります。そして、このまま地方が弱体化するならば地方からの人材流入が続いてきた都市もいずれ衰退し、競争力が弱まることは必至です。したがって、地方において人口減少を克服し、将来にわたって我が国の成長力を確保するためにも、新たな国内外の有望成長市場を取り込みつつ地域づくりに対応できる人材の育成が急務となっています。

このため、郷土の愛情に育まれて成長した若者が自ら行動して、教養や実践的な問題解決力の習得を通じて、交渉力やコミュニケーション能力を有する人材となり、リーダーシップを発揮しつつ、地域の課題に取り組み、新たな市場をも創造できる未来創造型リーダー人材の育成が求められています。

また、文部科学省では、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、高校生が“2020年を越えて未来を創るヒューマン・レガシー”になることを目指し、高校生による地域や社会、グローバルの課題解決活動を促進・支援することとしています。

このような背景を踏まえ、全国高校生SBP(ソーシャルビジネスプロジェクト)交流フェアは、全国の高校生SBPに関わる団体・グループが一堂に会して、“取組の紹介”や“開発商品や企画の紹介・販売・発信”をしながら参加者相互の情報交換やネットワークの構築のための交流の場を提供しつつ、互いの評価等を通じてモチベーションを高めながら、さらに進化していくことを目的に開催するものです。「SBPチャレンジアワード」においては、全国から公募した取組のうち書類選考を通過した取組を表彰します。

2. SBPとは

SBPとは、ソーシャルビジネスプロジェクトの略で、高校生らの若者が主体的に地域の様々な社会的課題を市場としてとらえ、ソーシャルキャピタルの考え方に即して、ビジネス手法を取り入れながら、地域資源(ひと、モノ、自然、歴史、名所旧跡、産業等)の発掘・企画・開発・販売・発信等を通じて地域の課題を解決するとともに、その取組を地域で応援し支えていこうというものです。また、SBPは、以下のような効果と成果を期待しながら活動を展開しています。

- ・ 高校生らの若者が主体的に地域の様々な社会的課題を市場としてとらえ、その解決を目的とする事業であり、①「主体性」、②「社会性」、③「事業性」、④「革新性」の4要件を満たしており、活動成果として地域経済の活性化や新しい雇用の創出に寄与する効果を期待！
- ・ 地域にある宝(地域資源)を発掘し、地域づくりに結び付けながら、自己研鑽能力を高めることを期待！
- ・ 地域課題に対して「ビジネス」の手法を用いて創意工夫しながら取り組む実践経験を積みながら、企画立案・プロデュース能力を習得することを期待！
- ・ 全国の高校生ら若者との交流を通じて、若者によるソーシャルビジネスを展開することを期待！
- ・ これらの活動を通じて、「郷土愛の醸成」、「若者の地域定着」、「地域活性化」等の効果を期待！

SBPは、三重県多気町にある相可高校食物調理科が運営する高校生レストラン「まごの店」等を先進事例に、2013年4月に三重県南伊勢高校南勢校舎で最初のSBPが立ち上がりました。そして今、この地域に根差した取組が北海道、青森、福島、富山、愛知、沖縄等全国に広がっています。

3. 開催日 2017年8月18日(金)～19日(土)

4. 日程及び会場

日程	時間帯	内容	会場
8月18日(金)	午前	(移動)	
	午後	・集合、事務連絡 ・ワークショップ	皇學館大学
	夜	宿泊	(公財)修養団 伊勢青少年研修センター
8月19日(土)	午前	・集合、事務連絡 ・物品販売等/料理交流	皇學館大学 伊勢神宮外宮前/まごの店(予定)
	午後	・昼食(高校生レストランのまご弁当) ・SBPチャレンジアワード ・ミニ講演 ・結果発表と表彰	皇學館大学
	夜	・バイキング交流会(大学生レストラン) 全日程終了 (21時頃予定) (宿泊)※希望者のみ	(公財)修養団 伊勢青少年研修センター

(移動についてのお願い) 当会場まで貸切バス等でお越しいただく場合は、当該貸切バス等で宿泊場所等に移動いただきたいと思います。一方、会場まで公共交通機関でお越しいただく場合は、事務局で用意したバス等の移手段を検討するため人数等の把握に御協力ください。

5. 参加費 1,000円/人

※食事代(18日の夕食から19日の夕食まで)、資料代、会場代を含みます。
旅費と宿泊費は各団体の負担になります。

6. 宿泊費 1人当たり 4,000円/泊 (予定)

※参加者間の交流促進と団体行動にも資するため、宿泊先の手配は事務局で行います。
※宿泊所の受け入れ人数の関係等により、参加人数によっては宿泊場所や金額が変わることもあります。

※宿泊先:(公財)修養団 伊勢青少年研修センター

三重県伊勢市宇治今在家町 153 電話番号:0596-25-0265

7. 参加対象

SBPの趣旨に賛同でき、SBP活動として紹介しても良いもの

*SBPに限らず同様の取組をしている高校は多いと思います。しかし、このフェアでは、自分たちの取組をモデルとして、他団体が同じことをしても構わないというようなオープンな姿勢で学び合える活動を目指しています。

(1) SBPチャレンジ部門(アワード)への参加資格

① 高校生が地域の課題をビジネスの手法を用いて解決する取組を行っている団体

*全国高校生SBP交流フェアにおける「高校生」については、下記注記を参照ください。

なお、団体の代表者など主に取り組む者が「高校生」であることが要件であり、「高校生」以外の者が当該団体に所属又は活動に参加していても可とします。

② 原則として応募の時点で6か月以上継続しており、次の要件を備えている取組を対象とします。

- | | |
|---|------|
| <input type="checkbox"/> 高校生が運営上の意思決定をしている | …主体性 |
| <input type="checkbox"/> 団体・グループの活動規約等がある | …主体性 |
| <input type="checkbox"/> 団体・グループの活動規約で参加者の役割が明確である | …主体性 |
| <input type="checkbox"/> 地域の課題を反映してその課題の解決に寄与している | …社会性 |
| <input type="checkbox"/> 活動には地域・コミュニティとのつながり「絆(きずな)」がある | …社会性 |
| <input type="checkbox"/> 地域住民や地域行政、地元企業・団体等と連携している | …社会性 |
| <input type="checkbox"/> 事業が自立的で継続的である(取組中も含む) | …事業性 |
| <input type="checkbox"/> 地元以外の企業・団体等と連携している | …事業性 |
| <input type="checkbox"/> クライアントの意見・声を活動に反映している | …事業性 |
| <input type="checkbox"/> 新しい視点・手法を活動に導入している | …革新性 |
| <input type="checkbox"/> 他の取組と差別化できている | …革新性 |
| <input type="checkbox"/> 他の地域にも波及する可能性がある | …革新性 |

③ 第1回全国高校生SBP交流フェアの本アワードに応募したものであっても、その後さらに工夫を凝らし、明らかに進化していると認められる取組について再応募も可能とします。

(2) 料理部門(料理交流)への参加資格

地域において高校生レストラン等の料理を通じた地域ビジネス創出に資する取組を行っている団体、又はこれから取り組みたいと考えている団体。

(3) SBP交流フェアの見学又は物品販売への出展希望

ワークショップやSBPチャレンジアワードの見学、物品販売への出店の希望も受け付けております。詳しくは、事務局までお問合せください。

(注記)全国高校生SBP交流フェアにおける「高校生」について

下記の学校に在学している生徒とします(国立・公立・私立は問いません)。

- ・ 高等学校
- ・ 中等教育学校の後期課程
- ・ 特別支援学校の高等部
- ・ 高等専門学校(第1学年から第3学年まで)
- ・ 高等専修学校
- ・ その他これらに準ずる教育機関

ただし、科目履修生、聴講生等は対象となりません。

8. SBPチャレンジアワードでの発表内容、審査基準及び表彰の種類

(1) SBPチャレンジアワードでの発表内容

以下の内容を10分で発表していただき、その後、10分程度で審査委員等からの質問に回答いただきます。

<発表項目>

- ① 団体名 ② 取組名(事業名)
 - ③ 取組内容 ※下記の審査基準表を意識して内容を考えてください。
- なお、発表は、Microsoft Office の Power Point を使用してください
動画を活用するときは、Power Point に連動させてください。

(2) 審査基準

以下の項目を基準に総合的に審査します。

- ① 取組に関すること
 - 主体性
 - 社会性
 - 事業性
 - 革新性
- ② 当日の発表に関すること
 - 発表の内容と方法の工夫
 - 質問への応答

(3) 表彰の種類

最優秀賞として文部科学大臣賞を授与するほか、優秀賞や特別賞を授与する予定です。

9. 応募方法

応募用紙をメールにて御提出ください。【提出先: info@s-kouryu.net】

御提出いただいた書類をもとに、開催趣旨と上記アワードの基準に沿って事務局で選考をし、結果をお知らせいたします。ただし、御提出いただいた書類の内容について不明点等がある場合は、事務局から問い合わせのうえ再提出を依頼することもありますので、御了承ください。

参加が決まった団体については、パンフレット掲載の内容や参加人数等を決めていきます。

(1) 応募用紙の入手方法について

HP (<http://s-kouryu.net/>) からダウンロードしてください。

(2) 応募締切

2017年5月19日(金)

(3) 応募に当たっての留意事項

- ・ 応募に当たって参考になる資料がありましたら、一緒に添付してください。なお、データの容量制限は、4MB までです。4MB を越える場合は、メールを分けるか、データ便等でお送りください。
- ・ 御提供いただいた情報及び今後御提供いただく情報の利用目的は、次のとおりです。

- ① 御本人の確認
- ② 応募の受付、審査及び審査結果の通知・発表(注)
(注)応募用紙の情報(団体名、代表者名、取組名、活動内容等)をホームページ等で公表することがあります
- ③ アンケートの実施等による調査・研究及び参考情報の提供
 - ・ 審査についての個別の問い合わせには応じられません。
 - ・ 応募用紙等の返却はいたしません。
 - ・ 虚偽の事実や盗用等が判明した場合は、結果発表後においても受賞を取り消すことがあります。
 - ・ 応募プランに関する全ての権利(著作権、肖像権、特許権、商標権等)については、必要に応じて予め応募者が行ってください。これらの権利に関して第三者から異議や請求等があった場合は、応募者の責任において処理していただきます。

10. 応募から参加までの流れ・スケジュール

- (1) 公募開始 2017年3月3日(金)
- (2) 応募締切 2017年5月19日(金)
- (3) 書類選考 2017年5月22日(月)～5月31日(水)
- (4) 選考結果通知 2017年6月初旬
- (5) 発表資料の提出 2017年7月31日(月)
- (6) 交流フェア 2017年8月18日(金)～8月19日(土)

11. お問い合わせ先

HP(URL:<http://s-kouryu.net/>)にて御確認いただき、御不明な点は下記メールに御連絡ください。

未来の大人応援プロジェクト実行委員会 事務局担当: 岸川 政之、吉田 拓木 メールアドレス: info@s-kouryu.net
--

12. 運営

主催: 未来の大人応援プロジェクト実行委員会
共催: 文部科学省

【補足】会場到着後の移動・宿泊手配について(旅行取扱)

当日参加者の宿泊先の手配並びに会場と宿泊先との移動の手配は下記旅行業者が行います。

三重県知事登録旅行業 2種-245号
「株式会社 旅行屋」本社営業所
〒519-0504 三重県伊勢市小俣町宮前 296-8
TEL 0596-28-5456 FAX 0596-28-5479
E-mail : kawamura@ryokoya.co.jp
(一社)全国旅行業協会正会員
総合旅行業務取扱管理者 河村和郎

第2回全国高校生SBP交流フェア 応募用紙

1. 参加部門（該当するものをすべて選択してください）

<input type="checkbox"/> SBPチャレンジ部門（アワード） ※書類選考の結果、SBPチャレンジアワードにおいて発表の機会がなくても、SBP交流フェアの見学や物品販売への出店を希望する場合は、それぞれ選択してください
<input type="checkbox"/> 料理部門（料理交流）
<input type="checkbox"/> SBP交流フェアの見学
<input type="checkbox"/> 物品販売への出店

2. 基礎情報

都道府県名	
団体名・高校名	
代表者名	
引率者名（任意）	
連絡先	担当者名： 電話番号： 携帯電話番号： メールアドレス： 住所：
参加人数	・生徒数 名 ・引率者数 名

3. 伊勢神宮外宮前広場への出店希望 ※8月19日（土）

<input type="checkbox"/> ブースを構えて、物品販売やアピールできる物・事がある (内容:)
<input type="checkbox"/> 特になし／予定していない

4. 会場までの交通手段

<input type="checkbox"/> 貸切バス
<input type="checkbox"/> 公共交通機関
<input type="checkbox"/> 自家用車／公用車
<input type="checkbox"/> その他 ()

(補足) 貸切バスで来られる団体は、期間中の移動手段として交流フェアの間中も確保しておいていただけますようお願いいたします。

お問い合わせ先

御不明な点は下記メールに御連絡ください。

未来の大人応援プロジェクト実行委員会 事務局担当： 岸川 政之、 吉田 拓未 メールアドレス： info@s-kouryu.net
--

5. 取組概要

取組名(事業名)	
目的・趣旨	
活動開始年月	西暦 年(平成 年) 月
活動の経緯	
活動内容	
連携先(自治体、企業等)と内容	
目標指標	
現状の課題	
今後の取組方針	
アピールポイント	

(補足)

- 枠の大きさは必要に応じて変えてください。
- 活動状況の分かる図表や写真等があれば上記表内に張り付けるか、または別添としてお送りください。
- ただし、メールで一度に受け取れるデータ容量は4MBまでのため、必要に応じてメールを分割して送信してください。メールを分割する場合は、通し番号(○通目/全○通)をメールの件名に記載してください。

6. 取組実績と今後の主な取組

年度	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度)	2020年度 (平成32年度)
主な取組					

(補足) 枠の大きさは必要に応じて変えてください。

7. 活動収支計算

年度	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度)	2020年度 (平成32年度)
収益					
費用					
繰越					

(補足)

- 枠の大きさは必要に応じて変えてください
- なお、活動収支計算の提出様式について、上記様式の代わりに、表計算ソフト (Microsoft Office の Excel 等) を利用して作成したものを添付していただいてもかまいません。